

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

DATA in 九州

今月の注目データ

ジビエの利用率

ジビエとは、狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味する仏語で、ヨーロッパでは貴族の伝統料理として古くからその食文化が発展し、なかでもフランス料理界では高級食材として重宝されてきました。

一方、わが国では近年、中山間地域などにおいて、イノシシ、シカなどの野生鳥獣による農作物の被害が深刻化・広域化しています。全国での被害総額は年間200億円前後で推移しており、営農意欲の低下や耕作放棄地の増加をもたらし、さらにそのことが野生鳥獣の住処の拡大に繋がっています。そこで都道府県別に見た野生鳥獣の捕獲頭数に対する解体頭数、つまりジビエの利用率を見てみると、九州の全県が全国平均（7.1%）を大きく下回っていることがわかります。

これまで捕獲した野生鳥獣のほとんどが埋設処理や焼却処理され、ジビエとして利用されるのはごくわずかでした。農林水産省ではジビエの利用拡大を図るため、鳥獣被害防止総合対策交付金により、獣肉処理加工施設等の整備を支援するとともに、各自治体においても、ジビエフェアの開催や、学校給食での活用など、ジビエの利用拡大に向けた様々な取り組みが行われています。

(単位:頭)	計			イノシシ			シカ		
	解体頭数	捕獲頭数	利用率	解体頭数	捕獲頭数	利用率	解体頭数	捕獲頭数	利用率
福岡	1,204	38,272	3.1%	1,008	28,717	3.5%	196	9,555	2.1%
佐賀	718	25,357	2.8%	718	25,357	2.8%	—	—	—
長崎	1,548	47,566	3.3%	1,418	38,408	3.7%	130	9,158	1.4%
熊本	2,988	54,639	5.5%	2,465	35,119	7.0%	523	19,520	2.7%
大分	2,250	74,724	3.0%	1,174	33,619	3.5%	1,076	41,105	2.6%
宮崎	1,801	52,773	3.4%	691	24,271	2.8%	1,110	28,502	3.9%
鹿児島	1,796	47,637	3.8%	573	23,425	2.4%	1,223	24,212	5.1%
全国	83,144	1,174,300	7.1%	27,476	553,700	5.0%	55,668	620,600	9.0%

出所：農林水産省「平成28年度 野生鳥獣資源利用実態調査」、環境省「平成27年度 鳥獣関係統計」を基にFFGビジネスコンサルティング作成
ただし利用率は、同一年度の解体頭数と捕獲頭数が公表されていないことから、参考値として示すもの